

研究助成の概要.V

- ① 災害リスクを有する都市における強靱化対策が環境負荷低減に果たす役割の検証
- ② 国立大学法人 高知大学 自然科学系理工学部門
- ③ 講師 坂本 淳
- ④ <http://www.cc.kochi-u.ac.jp/~jsak/>

1. 研究分野及び題目

(Ⅲ-5) デジタル道路地図の利活用に関する研究

2. キーワード

津波浸水想定区域、津波対策、高台移転、居住誘導、居住選択意識

3. 研究内容

(1) 研究の目的

平成 24 年施行の津波防災地域づくり法を受けて太平洋沿岸地域の津波浸水想定は大きく見直され、これまで浸水しないと想定されていた地域で新たに津波対策が必要ながことが認識された。一方、超高齢化・人口減少問題が深刻化しており、コンパクトかつ利便性の高い都市形成が急務とされている。そこで本研究では、中心市街地の大部分が浸水想定区域となる都市への早期の防災投資が環境負荷の低減に果たす役割の解明を目的とする。

(2) 研究のゴール

高知市をケーススタディ地域とし、まず、地域別の交通手段分担率、トリップ経路等から DRM を用いて環境負荷の原単位を整理する。次に、事業中の津波対策の早期実現と住民の居住地選択の変化をモデル化する。最後に、事業の早期実現有無別の 2050 年の人口シミュレーションを行い、地区別人口に前述の原単位を乗じることで、高知市全体の環境負荷の比較を with-without 評価方式にて行う。

